



7月のほけんだより



令和4年6月29日
しんあい保育園

暑い季節がやってきました。梅雨明けの直後は暑い日が続くので、熱中症に注意しなくてはなりません。水分補給や体調管理に気を付けながら、涼しい時間帯は外遊びをして、暑さに負けない体づくりを心がけましょう。



◆歯科検診終了のお知らせ

6月16日(木)長尾歯科の長尾先生による、歯科検診が無事に終了しました。
虫歯になっても、なっていないくてもかかりつけの歯科をみつけ、より詳しい定期検診とフッ素塗布等の予防に努めることをお勧めします。

*園でも4・5歳児のフッ素洗口を5月より始めています。



◆園内研修の様子◆

6月30日(木)から水遊びが始まるので事故を想定し、救急AEDの使用・心肺蘇生法・窒息時の対応です。大切な子ども達を預かっている自覚をしっかりと持ち、正しい知識を得ることの大切さを学びました。



◆病気明けの保育について◆

病気明けに登園する際、外遊びをさせないでほしい等、一人だけ保育園での集団生活ができない状態の時は、病後児保育をお願いしています。また、まだ少し熱があるが仕事にいかねばいけない状況に対しては病児保育をすすめています。保育園は集団生活の場になります。他の園児への感染にも気を付けて対応しなければいけないため、ご家庭にはご協力をお願いすることが多くなりますが、ご理解とご協力をお願いします。

対応が必要な場合は詳細をお伝えしますのでご連絡下さい。



夏に多い感染症



ウイルス感染によって起こる病気です。他人への感染力も強いので、必ず受診をして医師の診断を受けましょう。

ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、口の中の水泡、口内炎が特徴です。症状が軽ければ1~4日くらいで解熱します。

流行性角結膜炎

目が腫れ、充血し、普段より多く目やにや涙が出ます。周りの人への感染源となるので、タオルは共有しないようにしましょう。

プール熱

プールで感染することもあり、高熱が3~5日くらい続き、喉の痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状も出ます。食事は消化のよい物を食べましょう。

手足口病

手の平、足の裏、口の中に水泡ができ、発熱することもあります。食事は喉越しのよい物を食べましょう。

虫よけ対策について

虫刺されが気になる季節が来ました。6月のほけんだよりでお知らせしましたが、保育園ではアロマプレーを使用しています。それでも防止が難しいのが現状です。そのため、家庭から虫よけシールをつけてくる園児がいますが、シールは誤飲のもとにもなりますので、基本使用不可とさせていただきます。子どもによってはひどく腫れてしまう子もいるのでどうしてもという方は保育士にご相談ください。

シールの他にもリストバンドやクリップなどのグッズもありますが、こちらは怪我などの原因にも繋がりますので禁止とさせていただきます。

登園前に虫よけスプレーをしてくるなど、家庭での対応も重ねてお願いします。

「幼児のマスク」と「熱中症」について

バスキャッチでもお知らせしましたが、夏に向けて徐々に気温が上がってきたこの頃、マスク着用による熱中症のリスクも高まってきていることから、しんあい保育園では屋外ではマスクの着用は推奨しないことにしました。室内は冷房などを使用し、室温管理を行う為、マスクの着用をしています。(濃厚接触者の考え方や自宅待機についての取り扱いに変更がないため)ご理解とご協力をお願いします。